



平成 21 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 平 田 機 工 株 式 会 社  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 米 田 康 三  
 (コード番号: 6 2 5 8)  
 問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 小 橋 正 實  
 管 理 本 部 長  
 (電話 0 9 6 - 2 7 2 - 5 5 5 8)  
 (URL <http://www.hirata.co.jp>)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月7日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

### 1. 平成 22 年 3 月 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正

(1)第2四半期連結累計期間業績予想値の修正(平成 21 年4月1日～平成 21 年9月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想(A)	18,500	300	180	310	29 円 50 銭
今回修正予想(B)	16,785	297	241	260	24 円 80 銭
増減額(B-A)	△1,714	△2	61	△49	
増 減 率 (%)	△9.3	△0.9	34.2	△15.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 21 年3月期第2四半期)	20,354	473	193	12	1 円 17 銭

(2)通期連結業績予想値の修正(平成 21 年4月1日～平成 22 年3月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	36,500	600	380	415	39 円 50 銭
今回修正予想(B)	35,000	100	0	300	28 円 55 銭
増減額(B-A)	△1,500	△500	△380	△115	
増 減 率 (%)	△4.1	△83.3	△100.0	△27.7	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年3月期)	49,710	△2,340	△2,944	△2,945	△277 円 58 銭

## 2. 平成 22 年3月期 個別業績予想の修正

(1)第2四半期累計期間業績予想値の修正(平成 21 年4月1日～平成 21 年9月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	16,500	300	200	350	33 円 31 銭
今回修正予想(B)	14,183	631	580	663	63 円 17 銭
増減額(B-A)	△2,316	331	380	313	
増減率(%)	△14.0	110.5	190.1	89.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 21 年3月期第2四半期)	16,569	339	106	67	6 円 39 銭

(2)通期業績予想値の修正(平成 21 年4月1日～平成 22 年3月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	29,000	550	350	425	40 円 45 銭
今回修正予想(B)	28,000	200	100	400	38 円 07 銭
増減額(B-A)	△1,000	△350	△250	△25	
増減率(%)	△3.4	△63.6	△71.4	△5.9	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年3月期)	40,830	△2,906	△3,387	△3,129	△294 円 91 銭

## 3. 連結および個別業績予想の修正理由

(1)第 2 四半期連結累計期間業績予想

売上高につきましては、設備投資動向の回復が想定よりも遅れ気味に推移したことなどにより、前回予想を下回ることとなりました。

営業利益につきましては、個別の営業利益は予想を上回ったものの、一部の海外子会社が不況の影響を強く受けたため、ほぼ予想通りとなりました。さらに為替差益の発生などによって経常利益は予想を上回ることとなりましたが、貸倒引当金などの特別損失の発生があり、四半期純利益は予想を下回ることとなりました。

(2)通期連結業績予想

売上高につきましては、受注の回復は緩やかな状況であり、前回予想を下回る見込みです。

営業利益につきましては、引き続き固定費の削減などに努めて参りますが、不況の影響を受けて価格競争が激化しており、前回予想を下回る見込みであります。これに伴い、経常利益および当期純利益も予想を下回る見込みであります。

(3)第 2 四半期個別累計期間業績予想

売上高につきましては、設備投資動向の回復が想定よりも遅れ気味に推移したことなどにより、前回予想を下回ることとなりました。

営業利益につきましては、前期受注した案件の売上計上と固定費削減などの対策の効果もあり、予想を上回ることとなりました。これに伴い、経常利益および四半期純利益も予想を上回ることとなりました。

(4)通期個別業績予想

連結業績予想と同様の内容で、売上高につきましては、受注の回復は緩やかな状況であり、前回予想を下回る見込みです。

営業利益につきましては、引き続き固定費の削減などに努めて参りますが、不況の影響を受けて価格競争が激化しており、前回予想を下回る見込みであり、これに伴って、経常利益および当期純利益も予想を下回る見込みであります。

(注)本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上